

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に
奉仕する
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

第 1207 回

2017年1月31日(火) 晴 第25回

～職業奉仕月間(1/25～31 追悼記念週間)～

斉唱 四つのテスト
出席 会員 53名 (出席率算入人数 44名)
出席 41名 出席率 93.18%
前々回補填率 81.82% (1月19日分)
ゲスト 名古屋 SJCD 理事 藤井 元宏さん
ビジター 名古屋大須 RC 副幹事
春日井和良さん

会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

先日、お得意様の社長とお話をしておりまして、お父様が芦屋で弁護士をしている方で、お父様が芦屋のRCに入っておりガバナーまでやられたそうです。その方は自分もロータリーに入りたいけれども、サラリーマン社長なので時間もお金もなくて入れないと仰っていました。



色々なお話を伺いましたが、交換留学生や色々な外国人が自宅に泊まりに来ていて、色々な所を案内したと仰っていました。アメリカ人を甲子園での高校野球に連れて行くと、みんな日本人はこんなに野球が好きなのかとビックリされたそうです。それと地下鉄の御堂筋線というのが昔はとても古い車両で、戦前からの車両だったそうです。アメリカ人でサンフランシスコに1度行っただけで、ロサンゼルスもニューヨークも1度も行った事のない人を御堂筋線に乗せたら、「この地下鉄は古いけれどもいつから走っているのか?」と聞かれ、「太平洋戦争の前からです。」と答えると、「アメリカはこんな国と戦争をして勝ったのか!」とビックリしていたのを見て、日本人が驚いたという話を伺いました。

先々週の4RC合同例会の前に、4RCの会長幹事会というのをやりまして、会員増強のお話をしました。瑞穂RCが現在69名で、7月から亡くなった方などで5名減り1名増えたという話です。幹事さんがJC出身の方で、JCから取れますか?と聞いたら、年が離れすぎていて取れませんという話です。先輩から

はとにかく会員増強は簡単で、全員が1人ずつ呼べば倍になるので、それをやればいいと言われましたが、それは難しいと話されていました。

南RCは現在110名で、これ以上はあまり増やしたくないと聞きました。歯科医の方が7名いて、8名の方が入りたいたいと言っていたのをお断りしたそうです。それから結構派遣業の方も多くて、派遣業の方もお断りしているというお話だったので、うちに紹介してほしいと言っておきました。

東南RCからは、RIからは入会金は取っても取らなくてもいいと規定審議会で変更されたのですが、やはり今までの方からは全員いただいているのと、入会金をいただかないと非常に運営が苦しくなるという事で、現在は入会金という名目ではなく正会員登録料という名前に変更をしていただいておりますというお話でした。一応、4RCともそういう名称でいただきますという話になりました。できれば、2760地区に対しても統一してそういう形にしてもらえるように話そうという事になりました。

それと昨年12月に、名古屋宮の杜RCというのがまた新しくできて、チャーターメンバーは31人なのですが、テリトリーが限られているのでまた新しいロータリーを作るのは、やはりみんながどのように会員を増やそうと困っている中で、31人もとられてしまっただけではまた増えないと全員が憤慨しておりまして、RIはとにかく人頭分担当を沢山取りたいからとにかくメンバーを増やそうとしているけれども、それには反対だと皆さま仰っていました。

幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 次回2月7日(火)は理事会があります。17時30分から17階パインの間です。

ニコボックス

- ◆ 末永祐敬さん、名古屋SJCD理事 藤井元宏さんの卓話楽しみにしています。

細井 俊男さん 小嵐 招啓さん 加藤 英敏さん
坂田 信子さん 伊藤 圭一さん 下村 徹嗣さん
江松 央統さん 安藤 修さん 白藤 憲雄さん
朝比美和子さん 東山 直史さん 森田敏二三さん
鈴井 一博さん 三浦 和人さん 長尾 浅吉さん
高橋 司さん 本多 利郎さん 坂本 晃さん
大橋さなえさん 久米 伸治さん 田中 一雄さん
佐々木 暢さん 木下 福郎さん 大平 明子さん

中西 芳子さん 児島 徳和さん 日下智重子さん
中村 勝さん 新原 尚さん 佐々木元彦さん
猪村 美之さん 有川 英敏さん 三島多恵子さん
末永 祐敬さん 牧野 好弘さん

- ◆ 藤井先生をお迎えでき卓話を楽しみにしています。
吉木 邦男さん
 - ◆ 2回目のお宝拝見です。どうぞよろしくお願ひ
します。
三浦 隆さん
- 本日合計 64,000 円 累計 1,190,500 円

委員会報告

■出席・ニコボックス委員会

委員長 中西 芳子さん

皆さま、こんばんは。2016-2017年度上期ホームク
ラブ100%出席者の表彰を致します。

新原 尚さん

■ロータリー財団 委員長 三浦 隆さん

皆さま、こんばんは。今回は「お宝拝見」の第2
回目です。素晴らしい前田青邨の武者絵や刀剣が来
ております。森田さん、説明をお願いします。

森田敏二三さん

皆さま、こんばんは。本日お持ちしたのは前田青
邨という中津川の方で、武士の絵を描くのが得意で
す。そして刀の1つは井上真改という有名な方らし
いです。もう1つは肥後の国のものです。一番長い
ものは、たまたま私の大学の後輩に15代の刀鍛冶が
いまして、その方が私の結婚55年を祝して刀を作っ
てくれました。後でご興味があればご覧ください。

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

外部卓話

■卓話者紹介 吉木 邦男さん

皆さま、こんばんは。本日は私が名古屋で開業
し、そしてスタディグループというものをやっている
時に一緒になって勉強や色んな話題を教えてもら
った素晴らしい仲間である藤井先生をお呼びしま
した。テーマは皆さまご存知だと思いますが、日本
は類まれなる超高齢化社会に入ってきています。

その超高齢化社会にこれから向かっていく自分
達、若しくは歯科医師としては、どのようにそれを
捉えていくのか。日本歯科医師会はもちろん愛知
県歯科医師会の中でも医療管理部というのがありま
して、その部員であるのが我がクラブの末永祐敬先
生です。超高齢化社会に対して、医師会若しくは歯
科医師会がどのようにそれを捉えてどのようにプロ
ジェクトを組んで活動をしているのかという社会背
景から、末永先生に10分程お話をさせていただいて、
その後、藤井先生から現実的にこういう背景の中
でどういう活動が望まれ、そして私達に何が出来る
のか、何をやっているのかというお話をさせていただ
ければと思っています。よろしくお願ひします。

末永 祐敬さん

皆さま、こんばんは。宜しくお
願ひ致します。やはり今、元氣な
高齢者の方が多いと思います。ど
んな感じで内閣府が捉えていて、
データの裏付けがある事も含め
てお話をさせていただきます。



「訪問診療の現状と未来と」
という形で進めます。70歳で定年、

75歳で年金支給開始。内閣府が高齢者の定義を65歳
から70歳に引き上げるという事を考えております。
昨年12月20日に内閣府がそのような内容を公表し、
日本経済新聞が報じました。高齢者の定義を70歳以
上に引き上げ、定年の延長、所得に応じた負担増な
どを想定、働ける人を増やして生涯年齢、生産年齢
の維持の仕組みを構築しようという目論見があるよ
うです。今の段階では65歳は高齢者という枠組みで
す。高齢者の人口は年々増加しており、2015年10月
が33,920,000人で日本総人口の26.7%が高齢者です。
2025年になると、人工的にも右下がりに、高齢の方は
右肩上がりになってきて、高齢化率が上がるという
状況が推測されます。日本は世界でも類をみあい超
高齢化社会を進むという事がはっきりと分かります。

では世界においてはどのようなのでしょうか。やはり
G7の中でも日本は群を抜いて高齢化が進んでおりま
す。他の諸外国はだいたい右肩上がりなのですが、
日本は類を見て上がっております。ではBRICsの中
ではどのようなのでしょうか。BRICsでもやはり右肩
上がりですが、上がる率が急勾配で上がり始めていま
す。この国の人達が高齢化社会に突入し、日本のよ
うな状態になると、世界の人口増対がどうなるのか
と予測されます。

2014年に内閣府が60歳以上を対象に自分が高齢者
であると感じますかと質問したところ、65歳～69歳
ではいと答えた人はわずか24%でした。逆に70%が
高齢者だと感じていないという事です。このように
色々なデータの裏付けから、内閣府が先ほどのよう
な見解になっていったと思います。平均寿命と健康
(日常生活に支障をきたさない)寿命の差は当然あ
ります。平成13年～平成25年で男性が8.67～9.02年、
女性が12.28～12.40年のだいたい両方で10年位です。
この10年というのは不健康という事です。現在はこ
の健康寿命、健康な生活が出来るのが男性で71歳、
女性が74歳です。ではその10年間の中に認知症の人
はどのくらいいるのかを見ると、2010年～2015年は
右肩上がりが増えていきます。認知症の方を働ける人
がどのように面倒を見ていくのか、すごく大事な問
題だと思います。

歯科で言う8020達成者の割合です。8020とい
うのは、皆さまご存知だと思いますが愛知県が発祥
です。80歳で20本の歯を残そうと平成元年にそう
いう推奨運動をしていこうというものです。2011年
のデータですが、だいたい40%に達しているので、
8020運動をやる意味があると県の歯科医師会では協
議されています。歯も健康、体も健康、健康寿命の
人が多いという事です。では、8020達成者の食生活
を見てみますと、あるものを食べさせて咀嚼能力
を100%とした場合、どれぐらい咀嚼できるのか。
8020未達成者は10%です。8020達成者の85歳の人で
67%、90歳で59%食べる事が出来ます。健康に8020
は確実な目安となっていると思います。

ではこのような状態で、国は2025年に向けて地域医療・福祉の統合的な確保が必要、逆に言えば高齢者の増加や医療費の問題、高質な医療提供などをどのように構築するかと考えているわけです。そこで医療法、介護保険法の関係を整備する必要があります。平成26年に地域における医療及び介護の総合的な確保を推奨する為の関係法律の整備に関する法律を公布しました。この概要は何かと言いますと、新たな基金の創設、基金という事はお金が出るという事です。この基金をもとにこちらの法を各県で協議し、予算を立ててくれという事です。地域における医療提供体制の確保、地域包括ケアの仕組み、在宅・介護・予防・老人ホームなどがあります。大事なのは介護士の研修制度で、この中には、新たな介護士を採用する為の寄付金、補助などもしています。利用者にとって切れ目のない医療と介護の提供体制が大事だという事で法案が出来ています。

では名古屋市はどのようなことをやっているのかと言いますと、寝たきりなどの在宅で動けない人が介護保険などを利用できるよう無料で補助をし、1回目の審査代は名古屋市が提供する形で、なるべく埋もれた患者を発掘しようとしています。地域包括ケアシステムというものがどんなものなのかと言うと、各県レベルでの医療と介護、生活補助、介護予防に取り組んでいく、それによって医療・介護・生活支援をみんなで頑張っているという事です。医療に関してチームプレーで元気な高齢者が幸せになるように、私個人は願っております。

私の話になりますが、愛知県の歯科医師会は栄にあります、そこで木曜日に仕事をしております。愛知県の歯科医師会の会員がだいたい4,000人位です。非会員も当然おられます、だいたい445医療機関という形でやっております。介護で言うと、地域医療の貢献では歯科医師会はすごく大事な部署だと思います。あとは訪問診療審査の普及で、これもしっかりとやっております。こちらの部署は私の部署ではありませんが、地域保健という所で県レベルの仕事をして、予算をどのように使うかという事を歯科の分野で考えていくのが実態です。私は医療管理部という所で仕事をしておりまして、衛生士の獲得や育て上げ、新規勧誘の相談などをやっております。ご清聴ありがとうございます。

■名古屋 SJCD 理事

藤井 元宏さん

皆さま、こんばんは。本日はこのような席を用意していただきありがとうございます。先ほど末永先生から県の歯科医師会で色々と活動をされているというお話がありました。私が現場でどのような事を行っているのかをお話させていただきます。タイトルは「人生を変える噛める入れ歯」という事で入れ歯の話となります。お話が終わった後に少しでも皆さまのお役に立てればと思います。宜しくお願い致します。

簡単に自己紹介をさせていただきます。私は1974年に昭和区にある聖霊病院で生まれました。瑞穂の陽明小学校から汐路中学校に行き、愛知高校、愛知学院大学に入学しました。今は千種区に住んでおり、中村区で開業しております。



本日の話なのですが、私には師匠が2人いて1人は吉木邦男先生、もう1人は河原英雄先生です。その先生の活動の話をしたと思います。河原英雄先生は今年で75歳になられるのですが、まだ現役の歯科医師をされています。大分県で開業されています。どんな活動をしているかと言うと、噛めない入れ歯を噛み合わせの調整で噛めるようにする、それだけなのです。入れ歯というのは噛めないものだと言われますのですが、調整をすればちゃんと噛めるのですという活動をしています。

大分県出身で九州では200名ほど、中部でも何回も講習会を開いて、50名ほどの先生が噛めるような調整が出来るようになってきました。現在、前歯でも噛める入れ歯研究会というものを今年発足して、厚労省と内閣府の前で河原先生が発表をして、連携をしていこうというまだ初期の段階です。一応名簿を提出して全国に広げて、全国に広がったら世界を目指すという話にはなっていますが、まだどうなるのかは分かりません。動画なのですが、去年の4月に民放で「新報道2001」という番組に河原先生が特集をされていたのでちょっと見ていただきます。

弱っている人が入れ歯を調整するだけで、もちろんリハビリテーションはするのですが、歩く事が出来たというのは、簡単に言うと医療費の削減につながりますし、凄い事だと私は思うのです。これは河原先生の講習会を受けて、私が初めて施設で施術をした患者さんです。同じように入れ歯の調節をしただけなのですが、2年ぶりにリンゴと海苔巻きを食べてもらいました。通常はムース食を食べていますので、横には看護師を待機してフードテストという形で実験をしています。いくつになってもやはり海苔巻きは食べたいのです。食べただけで拍手が出るというのが、今の施設の現状です。

実際にどのように噛み合わせを調節しているのか、少し学術的なのですが、実際に私がやっている内容を見ていただきます。5年程入れ歯を使っていない方です。軽度認知症という事で治療を受けている患者さんで、家族で旅行に行きたいという事で来院されました。柔らかい餅を入れ歯に乗せて噛んでもらうだけです。今、上下入れ歯を入れた状態です。正しい位置で噛み合わせが取れたらそれでいいです。チェアタイムはこれだけです。後はどうするかと言うと、それを咬合器という器械につけます。

口の中と同じような状況を再現します。この間、患者さんは待合室で待っていただくか、一度帰宅していただきます。器械につけてみると、上の歯と下の歯は噛んでいるようで隙間が空いて噛んでいないのです。それを削って、どこで噛んでも入れ歯が当たるようにする、それだけなのです。右で噛んでも落ちない、左で噛んでも落ちないという噛み合わせの調整で約1時間位かかります。私も河原先生もやっている事はこれだけなのです。これは3週間後なのですが、沢庵が食べられるようになったと来られました。少し痛みがあって調整はしたのですが、食べられなかった煎餅が食べられるようになりました。

この方は軽度認知症なのですが、入れ歯を入れてからよく喋るようになりました。痛い煎餅をボンと全部口の中に入れる方はいませんが、痛くなく安定しているので塊を口の中に入れる事が出来ます。

比較してみると分かりやすいです。目と頬が垂れていたものが、すごく元気になったのです。顔色も日焼けをしたわけではなく、奥さん曰く血流が良くなったのではないかと仰っていました。入れ歯を入れる事によって元気になる、まさに「人生を変える噛める入れ歯」という事です。

これはデータなのですが、噛み合わせとアミロイドベータというものがあるのですが、噛めないのアミロイドベータという認知症の物質が出ます。噛み合わせを治療、要は入れ歯を調整する、ご自分の噛み合わせを調整して噛めるようにすると、アミロイドベータの量が減り、正常に戻ります。だから噛み合わせを治療すると、認知症の一種であるアルツハイマー病の予防が出来るのではないかとというデータは、2011年ここから全部出ています。だから噛み合わせは大事な事です。もちろん、噛む事で脳血流量なども変化すると思います。

ただ全てが上手くいくわけではありません。この方は入れ歯が落ちるので使っていません。心筋梗塞・脳梗塞、そしてものを食べる事が出来ない摂食障害で入院し、点滴をしています。戻って来た時には看取りの患者さんと言われて、何も手を施さない、若しくは胃瘻にするという状態でした。この方をなんとか噛めるようにできないかと看護師から言われて、一度やってみました。患者さんはすごく怒っています。私に対して不信感を抱いて、噛もうとしています。映ってはいませんが、下で看護師が手を押さえています。

このような状態でどうしようかという事なのですが、先ほどと同じです。ちょっと体が傾くので詳しい噛み合わせは取りにくいですが、笑った瞬間は緊張が取れるのでこの噛み合わせがいいのです。チェアタイムはこれだけです。後は先ほどと同じように機械につけます。1回では終わらなかったで2回やりました。更に2回目の調整が終わった時点で、煎餅が食べられるようになりました。少し傾いていた体が起きて来ました。私は2週間に1度施設に伺ったのですが、咬合調整4回、他にも色んな事をしたのですが、5ヶ月後、首を支えるストレッチャーではなくて普通の車椅子になりました。今回はいなり寿司を前歯で噛み切っていただきました。10分位かけてゆっくりと食べていただきます。ただ普段の食事はまだペースト食です。麻痺があるとお茶碗を抑える事が出来ないで、スプーンを使っても上手く食べられないのです。だからどうしてもとろみをつけなくてはならない。これは手で掴んで食べられるので食べられましたが。別にむせる事もないのですが、ただどうしても普通食まではいかなかったです。初診の状態と5ヶ月後の状態です。首が座って目に力が入って元気になりました。入れ歯を調整しただけですが、人生を変える入れ歯という事です。実はこの方は半年後に亡くなられたのですが、一番喜んでいたのはご家族の方です。お母さんに煎餅を食べさせたいというのがあって治療が始まったのですが、毎日煎餅を食べて幸せそうでしたと言われました。

こういう方もいらっしゃいます。リンゴ持参で来ていただきました。入れ歯を入れるまで一言も喋ってくれなかったのですが、入れ歯を入れたら喜んでくれました。施設では、92歳の方で好きだと伺って

いたケンタッキー・フライド・チキンをお見舞いで持って行ったら、入れ歯同士で骨をちぎってチキンを食べていました。自分の歯でなくても入れ歯でも噛みつけるといのは凄くいいことなのかなと思いました。この方は元気すぎて、要介護度が上がってしまって施設から出る事になりました。

「元気な体は日頃の口腔ケアから」。日本歯科医師会はいい事を言うなと思います。日本医師会の方も噛む事が非常に重要だと仰っています。歯科医師会のほうですが、弱った方を元気にするのは大変なので、元気なうちに予防のようにしっかり早期介入をしましょうと言いはじめました。これは吉木先生に提供していただいた写真です。初診と術後では顔が全然違います。その時は正しい入れ歯を入れると表情が変わるのだと仰っていました。これはまさしくこの患者さんの人生を変える噛める入れ歯であると、吉木先生から10年も前から教えていただいていると思いました。

ちょっとセルフチェックなのですが、入れ歯やブリッジ、インプラントなど関係なく、上の歯を前に出してと言われて出すと、下の顎が少し下がります。その状態のまま奥歯でそっと噛んでいただくのです。全部がカンッと当たるといいのですが、1ヶ所がちょっと当たる、噛んだ時にずれるような方は、噛み合わせの調整が必要かもしれません。その方は是非吉木先生のオフィスで咬合調整をください。お知り合いにそういう方がおられたら、私が往診で伺います。「人生を変える噛める入れ歯」。私がやっている事は噛めない諦めていた入れ歯を噛み合わせの調整で噛める入れ歯にするという事をしております。これはどういう事かと言うと、先ほど末永先生からもありましたが、平均寿命と健康寿命です。健康寿命を少しでも長くする、噛めて元気になるようにしたいと思います。ありがとうございました。

第 1209 回例会 (2月14日) のご案内

外部卓話 18:00 ~